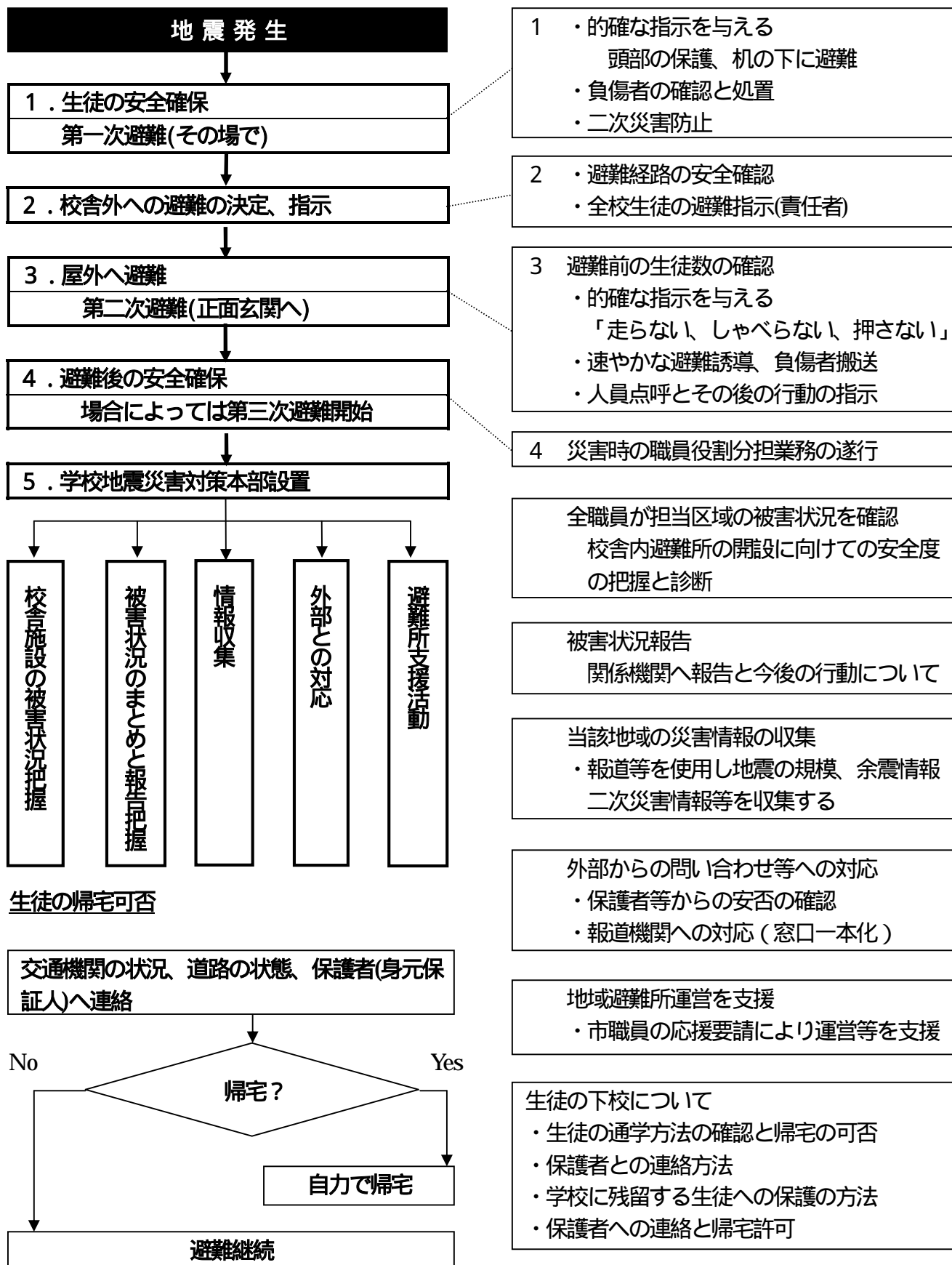
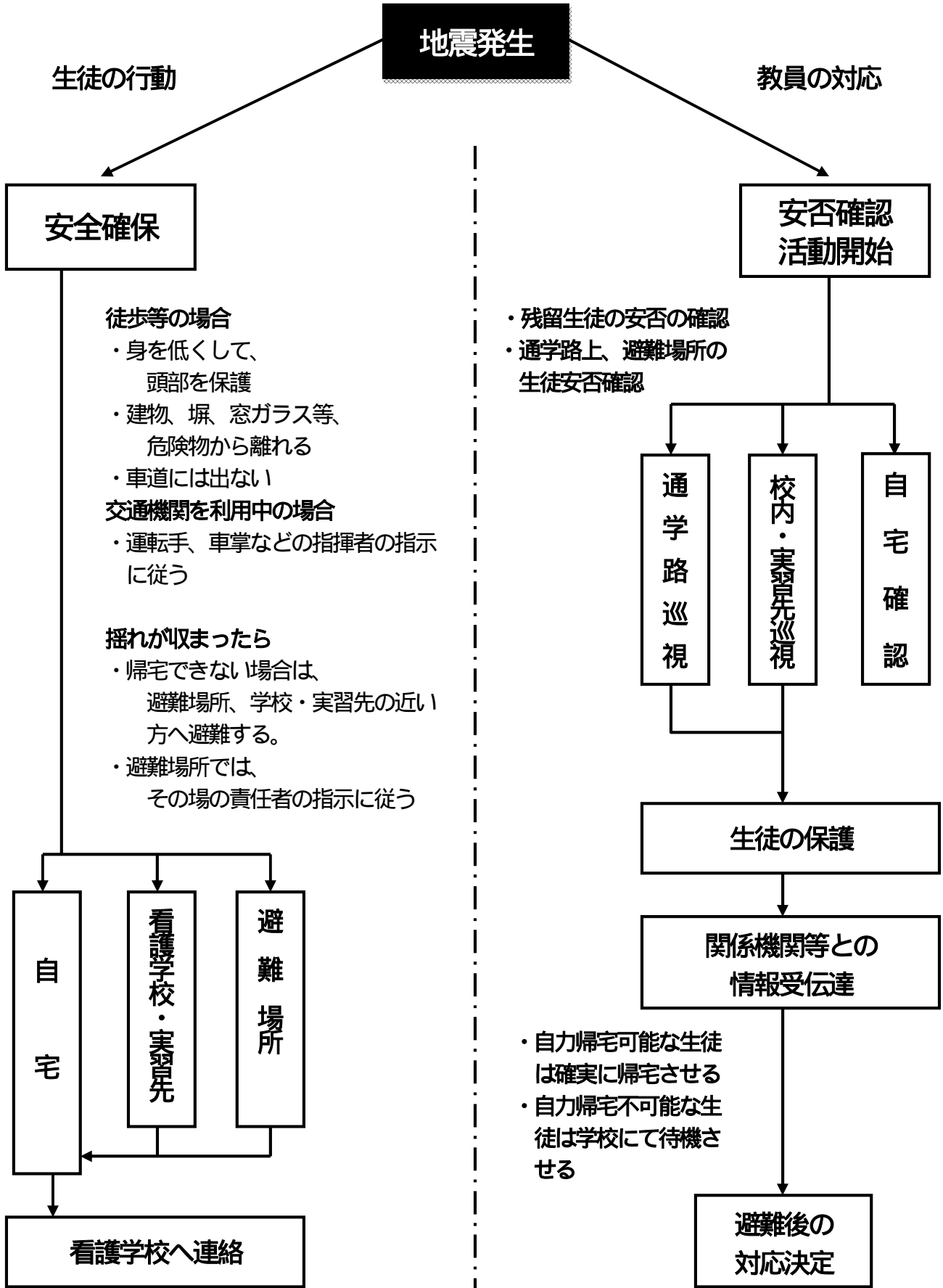


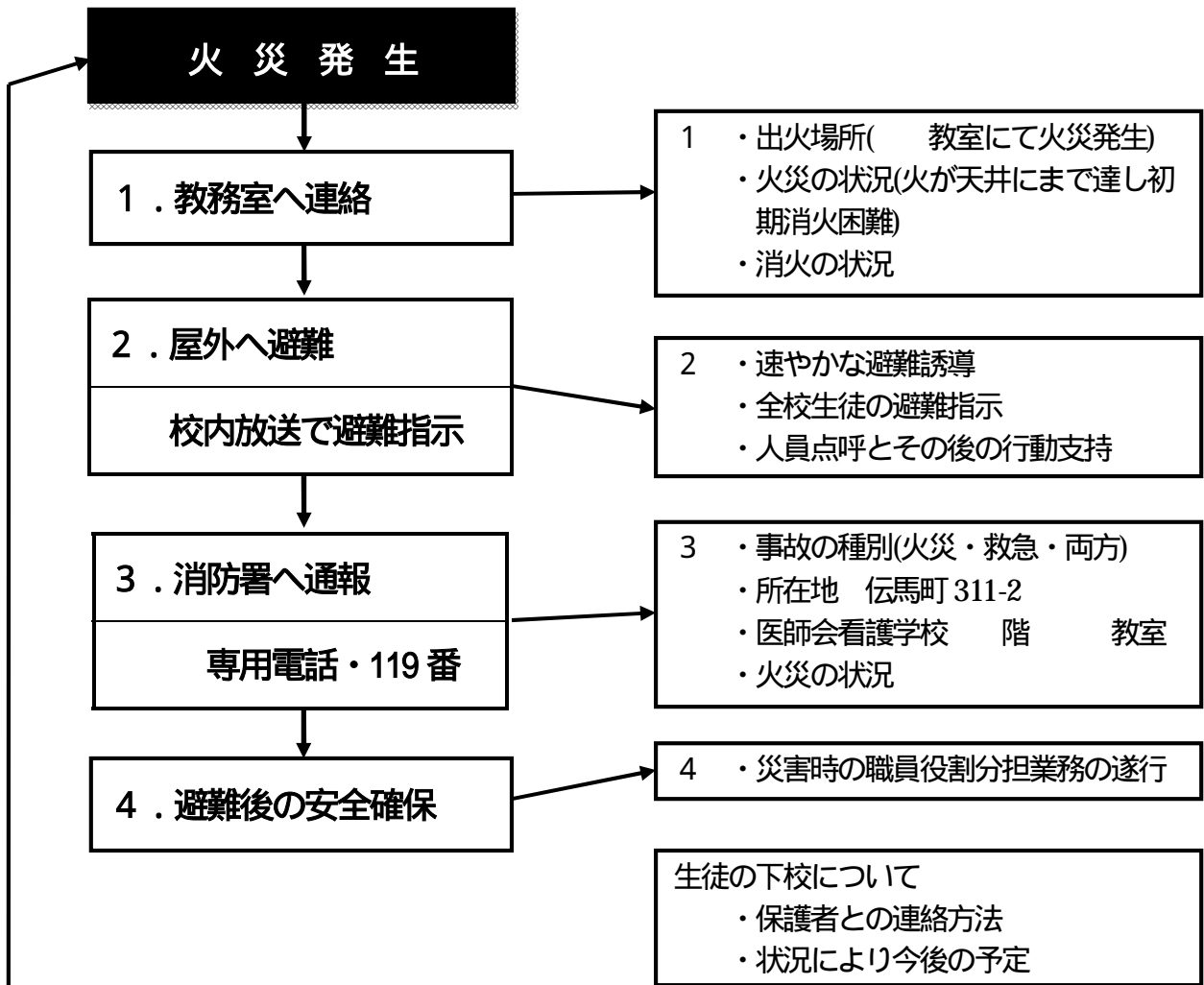
在校中に地震発生した場合の行動マニュアル



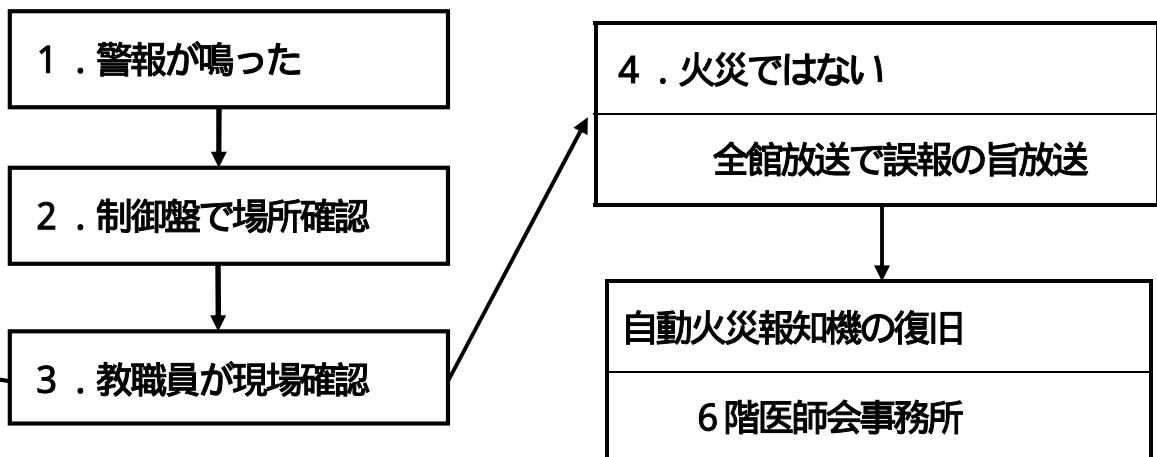
登下校時に地震発生した場合の行動マニュアル



火災が発生した場合の行動マニュアル



自動火災報知機



授 業 中

教室において

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
<p>天井、壁などが割れたり落ちたりする。</p> <p>棚、ロッカー等が転倒する。</p> <p>蛍光灯、時計等が落下したり、時には教材見本やビデオ、テレビ等の置物も2～3m程度飛んだりする。</p> <p>窓ガラスが破損し飛散する。大きな破片は時によっては、凧のように数m程度室内を飛ぶ。</p> <p>不安や恐怖で泣き叫び、騒ぎたてて教員の指示が行き届かなくなる。また恐怖のあまり全く動けなくなったり、失禁したりもする。自分勝手に行動し始め、パニック状態になる。</p>	<p>[ゆれているとき]</p> <p>「机の下に潜れ！」 「机の脚を持って！」</p> <p>「大丈夫 先生もここにいる。」</p> <p>「外へ飛び出すな！」</p> <p>・脱出口を1カ所以上確保する。</p> <p>[避難するとき]</p> <p>「けが人はいないか。」</p>	<p>[ゆれているとき]</p> <p>・机の下に潜って、机の脚をしっかり持つ。</p> <p>・身を隠すところがない場合は、座布団や手近にあるカバン、本などで頭を覆い、出来るだけ低い姿勢をとる。</p> <p>頭を守る。</p> <p>主震動が収まるまで行動しない。</p> <p>[避難するとき]</p>

授 業 中

実習場において

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
<p>天井、壁などが割れたり落ちたりする。</p> <p>棚、ロッカー等が転倒する。</p> <p>蛍光灯、時計等が落下したり、時にはビデオ、テレビ等の置物も2～3m程度飛んだりする。</p> <p>窓ガラスが破損し飛散する。大きな破片は時によっては、凧のように数m程度室内を飛ぶ。</p> <p>医療機器等が移動または転倒する。</p> <p>薬品類(引火性のある)がこぼれる。</p> <p>感電、火災発生</p> <p>自分勝手に行動したり、恐怖のあまり全く動けなくなる可能性がある。パニック状態になる。</p>	<p style="text-align: center;">[ゆれているとき]</p> <p>慌てず冷静に。</p> <p>冷静に落ち着いて臨地実習先の責任者の指示に従う。</p> <p style="text-align: center;">[避難するとき]</p> <p>「けが人はいないか。」</p> <p>人員点呼、負傷者の有無の確認</p> <p>明確な指示を出し、自分勝手な行動をとらせない。</p> <p>避難経路を指示した上で先導する。</p> <p>避難所までは特に頭上、足下に注意を促し進む。</p> <p>避難場所到着後人員点呼、その場で指示あるまで待機を指示。</p> <p>火災が発生したら、消火器で初期消火に努める。</p> <p>冷静に落ち着いて教員の指示に従わせる。</p> <p>臨地実習先のマニュアルに準拠し、出来得る限り応急救護に協力する。</p>	<p>目前の患者ないし乳幼児の安全を確保。</p> <p>落下物に注意しながら、指定先の避難場所へ集まり頭を保護しながら低い姿勢をとる。</p> <p>慌てて外へ飛び出さない</p> <p>頭から水をかぶり、濡れたタオルや衣類で頭を覆う。</p> <p>有害な煙を吸わぬように、濡れタオルで口を覆う。</p> <p>低い姿勢で地を這うように進む。</p>

授 業 中

教務室において

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
	[ゆれているとき]	[ゆれているとき]
<p>天井、壁などが割れたり落ちたりする。</p> <p>棚、ロッカー等が転倒する。</p> <p>蛍光灯、時計等が落下したり、時には教材見本やビデオ、テレビ等の置物も2～3m程度飛んだりする。</p> <p>窓ガラスが破損し飛散する。大きな破片は時によっては、風のように数m程度室内を飛ぶ。</p> <p>教務室では落下物が多発する。</p>	<p>机の下に潜るよう指示。</p> <p>地震の揺れが始まったらドアを開ける(建物にゆがみが出ると、ドアが開かなくなる場合があるため)。</p> <p>来校者に避難指示。</p> <p>「お・は・し・も」の徹底を放送・ハンドマイクで呼びかける。</p> <p>お…押さない は…走らない し…喋らない も…戻らない</p>	<p>・机の下に潜って、机の脚をしっかり持つ。</p> <p>・身を隠すところがない場合は、座布団や手近にあるカバン、本などで頭を覆い、出来るだけ低い姿勢をとる。</p> <p>頭を守る。</p> <p>主震動が収まるまで行動しない。</p>
	[避難するとき]	[避難するとき]
<p>来校者や生徒がパニックを起こす。</p>	<p>けが人はいないか確認する。</p> <p>生徒、来校者を優先的に安全な場所へ避難させる。</p>	

休 憩 中

教室・廊下において

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
<p>[教 室]</p> <p>授業中の教室と同じ。</p> <p>自由時間のため、自分勝手な行動による混乱が一層起こりやすい。</p> <p>教員が、近くにいないため不安や恐怖をより強く感じ、奇声を発したり、泣き叫んで走りだしたり、また外へ飛び出したり、中には勝手に帰宅する生徒も出てくる。</p> <p>[廊 下]</p> <p>廊下や玄関等では、ロッカー・戸棚類等の倒壊や掲示板、ガラスの破片などの落下が起こる。</p> <p>戸や扉の開閉が困難になる。 防火扉が閉まってしまい避難が困難になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、できるだけ早く所定の教室に直行し、校舎内の生徒を掌握する。 ・放送等で安全な避難場所及び避難方法を明確に指示する。 ・教員は、できるだけ早く所定の教室に直行し、校舎内の生徒を掌握する。 ・被害状況をみたうえで、避難経路を指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の教室と同じ。 ・校内放送、その他の通報を静かに最後まで聞き、指示に従い行動する。 ・校内放送、その他の通報を静かに最後まで聞き、指示に従い行動する。 ・カバンや本で頭を守り、廊下の中央でしゃがむ。 余裕があれば近くの教室の机の下に潜りこむ。

休 憩 時

階段・便所・講堂・実習場において

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
<p>[階 段]</p> <p>破損ガラス、天井、壁、蛍光灯が落ちてくる。</p> <p>傾斜があるので、転げ落ちる可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の場合に準ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内放送、その他の通報を静かに最後まで聞き、指示に従い行動する。 ・転げ落ちないようにし、その場で伏せて、頭を守る。
<p>[便 所]</p> <p>戸や扉の開閉が困難になる。</p> <p>天井、壁、蛍光灯などが落下する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の場合に準ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内放送、その他の通報を静かに最後まで聞き、指示に従い行動する。 ・使用中は、急いでトイレの戸を開けて、落下物に注意してじっと動かずにいる。
<p>[講 堂]</p> <p>授業中の教室と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館内放送か教員が避難場所に誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の教室と同じ。 ・身を低くし、一刻でも早く、教員の指示で避難場所へ行く。 ・館内放送、その他の通報を静かによく聞き、指示に従い行動する。
<p>[実習場]</p> <p>授業中の実習場と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、できるだけ早く臨床現場に直行し生徒を掌握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の実習場と同じ。

登下校時

予想される状況	教職員の対応	生徒の対応
<p>強い揺れのために立っていることも歩くこともできない。(約1分程度)</p> <p>建物、電柱、ブロック塀、自動販売機等の転壊、電線が垂れ下がるなど。</p> <p>瓦、外壁、看板等が落下し、ガラスが飛散する。</p> <p>液状化した場所では泥水や砂の噴出、埋設物の浮き上がりや建造物の傾斜道路の陥没等が起こる。</p> <p>崖崩れ、津波が発生する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ早く、生徒の安否の確認を行い必要に応じて保護者と連絡をとる。 ・原則として、登下校中に地震が起こった場合、自宅が学校に近い方に向かうように事前に指導する。 ・交通機関を利用する生徒については、関係機関の職員の指示に従うように指導しておく。 ・安全が確認できるまで学校で待機する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・揺れている時は、カバン等で頭を保護してしゃがむ。 ・狭い路地(ブロック塀付近)は、避け、樹木の下、繁華街であれば落下物に注意して、ビルに一刻も早く駆け込む。(但し、入口付近に留まる。) ・事前に家族並びに身元保証人と避難する場所を決めておく。 ・揺れが治まったら、状況に応じて、自宅か学校、実習先の近い方に向かう。(判断に困ったら、原則学校へ向かう。) ・学校と連絡を取り、状況を報告する。 ・安全な場所に避難する。(海岸、崖下、橋の上は避ける。) ・火事の起きているところから遠ざかる。